

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	知的情報処理技術応用小委員会	主 査 名：本間俊雄 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：倉田成人
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】 複雑・膨大であいまいな情報や知識に対し、新しい情報技術体系で扱うソフトコンピューティングやデータ処理等の新技術を整理し、建築に関わる応用面の可能性を調査研究する。さらに、知的情報処理技術の普及を目指し、セミナーや書籍出版等を通して会員に情報を提供する。</p> <p>【各年度活動計画】 初年度：設置目的に沿って、情報交換を進めるとともに下記項目の作業を進める。 1. 建築分野あるいは異分野で注目されている最新のソフトコンピューティングやデータ処理等の技術整理。 2. 学生・初学者向けの知的情報処理技術習得セミナー の継続開催。 3. 書籍出版に向けた内容の精査。 2 年度：初年度と同様に、委員会で話題提供・情報交換を進めると共に、下記項目の作業を行う。 1. 建築分野あるいは異分野で注目されている最新のソフトコンピューティングやデータ処理等の技術整理の継続。 2. 学生・初学者向けの知的情報処理技術習得セミナー の継続開催 3. 書籍出版に向けた執筆の開始。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：本間 俊雄(鹿児島大学)，幹事：山邊 友一郎(神戸大学) 委員：浅香 暁(フリー)，朝山 秀一(東京電機大学)，入江 寿弘(日本大学理工学部)，江田敏男(建築ピボット)，大崎 純(京都大学)，新宮 清志(日本大学名誉教授)，中澤 公伯(日本大学生産工学部)，林田 和人(フリー)，三井 和男(日本大学生産工学部)，山田 悟史(立命館大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2018 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	<p>1. 知的情報処理技術習得セミナー「その3：機械学習と深層学習」 『同名資料』 参加者数 38名</p> <p>2. 知的情報処理技術習得セミナー「その4：最適化・エージェント・ニューラルネットワーク入門」 『同名資料』 参加者数 39名</p> <p>3. 第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画OS「知的情報処理技術の応用と展開」 参加者数 15名 『第41回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収</p>

大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>1. 小委員会メンバー及び外部研究者の話題提供・情報交換により、ソフトコンピューティングやデータ処理等の技術が整理でき、かつ、偏った分野構成にならないメンバーで当初の活動を遂行した。</p> <p>2. 2018年度7月と3月に具体的なセミナーを2回開催し、継続的なセミナー開催を実施した(催し物参照)。</p> <p>3. 第41回情報・システム・利用・技術シンポジウムオーガナイズドセッション(OS)「知的情報処理技術の応用と展開」を提案し、講演発表6題を構成した。</p> <p>1～3により会員への知的情報処理技術の普及を目指した情報提供を当初の目的通り実施できた。但し、書籍出版に向けた計画は、セミナー資料の充実により内容が重複になるので中止としている。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 委員会開催年4回の予定が、メンバーの出席状況より2回になった(ただし、メール審議等情報交換は複数回実施している)。</p>
その他	